

令和5年度第1回釧路市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時	令和5年6月13日(火) 13:30~14:20
場所	釧路市観光国際交流センター
出席委員	25名(うち代理出席3名) 欠席8名
事務局	5名
オブザーバー	2名 欠席1名

1 開会

2 議事

【報告事項】

- (1) 令和4年度事業報告及び決算、監査報告について 資料1、資料2、資料3
- ・事務局より説明
 - ～質疑なし～

【協議事項】

- (1) 地域内フィーダー系統確保維持計画案について 資料4
- ・事務局より説明
 - ～質疑あり～

(松田委員)

- ・ 布伏内線の年間利用者数 1,400 人から 700 人の変更について、実態に合わせてという説明がありましたが、何か大きな理由、原因があるのでしょうか。

(事務局)

- ・ 令和3年10月から令和4年9月の実績については、年間輸送人員が538人となっており、コロナから回復もしている状況で、もう少し利用者が伸びるだろうと運行事業者からの意向もありまして、実績よりももう少し高い700人という目標値に設定したところです。

(秋里会長)

- ・ 実情を踏まえながらということだろうと思います。運行事業者の松岡委員、他に補足がありましたらお願いします。

(松岡委員)

- ・ 今年度は新たに布伏内地域に住む高校生の方が、阿寒高校へ通学で利用するシーンが4月から出てきており、そういった面も反映して昨年度よりは今年度伸びてくるのではという予想のもと、数字を設定しました。

(秋里会長)

- ・ そういった意味では、計画値が少し高めだったものを実情に合わせながらもそういった需要が出てきているということとコロナからの回復も含めて、700人という形で置いているということですね。

3 その他

- ・ 事務局より説明 参考資料：チラシ

(事務局)

- ・ 当協議会といたしまして、皆さんに路線バスをもっと身近に感じてもらうため、釧路西部たらふく商店会様が7月1日土曜日に開催される多良福まつりの会場をお借りして、バスふれあいイベントを開催いたします。
- ・ 当日は、くしろバス様・阿寒バス様のご協力のもと、会場内に用意するバス車内を自由に入出りできるほか、運転席に座って記念撮影も可能となっております。また、お子様向けのプレゼントを先着150名でご用意しております。本イベントの周知にご協力いただけますと幸いです。

(吉田委員)

- ・ たらふく商店会とのコラボで、まさに会場がイオンなので、ちょうどここでFMくしろさんの司会や、私も司会に入りますので、ぜひWAONでバスが乗れることやPINA、もくいくなどのアプリのことも宣伝をしていきたいと思っています。
- ・ 意外と主婦の方のお話を聞くと、PINAやもくいくを知らない人がすごく多くて、教えるとすごく喜ばれます。あれがあるおかげで人生変わりましたと言われるぐらい。うちのアルバイトの人も2名ほどバスで通っていて、前までは家からずっと30分前ぐらいに出ていたのが、アプリを使うことで時間ギリギリに出られるようになったので、時短になったという方もいます。
- ・ それもぜひお伝えしたいなという風に思いますし、イオンさんの協力をいただけるのであれば、WAONの入会促進とかもやっていただければなと思っています。
- ・ 毎年、延べ1万人ぐらいの方が祭りに来てくれて、イオンでの買い物をしてくれるのと、今回、コロナ明けということや新根室プロレスが来るとか、色々な要素で人が来ると思いますので、ぜひバスの利用促進に繋げていきたいと思っていますので、皆さんよろしくお願いします。

(秋里会長)

- ・ いかにバスを身近に感じていただくかということの中では、こういったイベントも非常に意義深いものと思います。みなさま方での各組織の中でもPRにご協力いただけたところはぜひよろしくお願いします。
- ・ また、バスを利用するにあたってPINAを使うとか、またはWAONカードを使ってとか出てくるとは思いますが、まだ使っていない方をどうやって巻き込むかということが非常に大事だと思いますので、そういった意味としてはこういった気軽な

イベントというのにも効果あるのかなという風に思っております。バス事業者様何かあれば補足いただきたいのですが。

(原委員)

- ・ 本当に今回はありがたいお話で、とくにターゲットとしているのが、あまりバスを利用していないお子様をターゲットにしたいということです。
- ・ 過去ご老人の方をターゲットに非常に多く乗り方教室などを開催してきましたが、久しぶりにお子様を中心としたイベントということで、何年後かの利用促進ということで、ちょっと種まきにはなるのですが、ぜひ成功させていただいて大盛況で終わってくればなという風に思っております。

(須田委員)

- ・ WAONの利用率について、ご報告させていただきます。釧路市内完結路線、釧路市内に係る路線の収入の中でWAONの利用率は5%、前年度は3%なので徐々に上がってきている状況です。
- ・ また、利用促進策の1つとして、グーグルマップでのリアルな位置情報をわかるようにしておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思っております。

(吉田委員)

- ・ グーグルマップの話に関連して。私も東京、大阪、京都へ旅行に行くと、地下鉄が走っているのですが、意外と地下鉄から遠いところだとバスを使ったりします。
- ・ そのときに必ずグーグルマップを使うのですが、釧路のバス停だと、グーグルマップともくいくで表示が違ってきます。もくいくでは阿寒バスさんの鶴居線が出てこないとき、グーグルマップでは鶴居線が出ている。しかし、白糠線が出てこないとか。その辺はコントロールとか出来ないのでしょうか、私は大体、鳥取分岐から乗るので、全部の路線が出てほしいなという要望です。誰がコントロール出来るのかということと、グーグルと直で繋がることは出来ないのでしょうか。
- ・ 調べていただくと分かりますが、鳥取分岐から駅までで検索すると、グーグルには鶴居線が出てきて白糠線が出てこない。もくいくには白糠線が出てくるのですが、鶴居線は出てこないというのがなぜなのかなということ、後日調べていただきたいと思ひます。
- ・ それから、これは会社の経営の問題ですけれども、市の補助もあればいいなというところでですね、空港から券売機で鳥取に通うときに、現金のみの支払いになります。通常だと、公共交通系のカードで大体乗れるのですが、ここではバスではWAONしか使えないということで、券売機が現金しか使えないということだと少し不便かなということがあってですね、改善いただければなと思ひます。
- ・ あと最後に、私も各地でバスに乗ったときにサスペンションの問題かブレーキの問題か急にブレーキがグツとなる時があつて、子どもさんもこれから乗るとなると、ベビーカーとかも動いちゃうので、東京で乗る回数と釧路で乗る回数の違いではあ

りますが、改善できればなという風に思いました。

(須田委員)

- ・ コロナ禍以降、非常に厳しい経営状況が続いております。昨日、運輸支局さんとはご相談した中で、キャッシュレス補助はないのか確認したところですが、現在はありません。
- ・ キャッシュレス化でQRコードの読み取りで決済をしてもらおうとか、空港にある券売機にもキャッシュカードを使える券売機を設置したいと僕個人の中では考えているのですが、一応見積もりをとったところ約6,000万円かかります。
- ・ 非常に厳しい経営状況でそれが拠出できるのか、社内でも検討していくところですが、ただ、黙って現金のみでということではございませんので、その辺はご理解いただきたいと思います。
- ・ ちなみに令和4年度のバス事業に関する営業実績ですが、昨年度と比べ乗合実績は128%で好転しているようには見えるのですが、令和元年と比べると釧路市内完結路線で94%、郊外線では83%、空港連絡バスでは復活の兆しが見えて105%、都市間は56%、定期観光バスも55%、乗合合計73.4%で、3割ぐらいいは戻っていない状況です。貸し切りも令和元年と比べると74%にとどまっています。運送収入でも3割ぐらいい少ないということで非常に厳しい状況です。
- ・ これから民間と政府系の金融機関からの借入についても、民間分は返済が始まっていますので、収入の面でも空港線や都市間バスに力を入れていきたいと考えております。

(松田委員)

- ・ 今、阿寒バスさんからお話のあったキャッシュレスについてですが、昨日ご相談いただき、札幌の運輸局には情報提供しているのですが、今までの補助の割合ですが多くて2分の1、おそらくは3分の1行くか行かないか。予算の範囲内ではありますので、少し少なくなってしまうかもしれませんので、そこは釧路市さんにもご協力いただきたいのと、くしろバスさんも同じように、今はWAONが入っていますが、他のQRコードなどの導入をくしろバスさん、阿寒バスさん同時に動かれるのでしょうか。

(原委員)

- ・ 当分はWAONだけと考えています。

(松田委員)

- ・ 例えば、先ほど吉田委員からもお話がありましたように、鳥取分岐から駅まで時間に合わせてくしろバスさんのバス、阿寒バスさんのバスに乗ると思いますので、例えばPayPayが使えるバスと使えないバスがあると、特に観光客の方だと乗れる乗れないバスが出てくるので、今後導入していただければなと思います。お金が掛かるところなので、一概には言えないですが。

- ・ 私、WAONを使うのですが、非常に便利だと思います。正直、現金をほとんど持ち合わせてなくて、何十円とかしか財布に入っていないことがあるのですが、WAONさえあればなんでもいけるかなという風に思って使っていました。
- ・ バスふれあいイベントの話ですが、ポスターやチラシをもし頂けるのであれば、運輸支局でも掲示や設置を行いたいと思いますので、頂けるとありがたいです。
- ・ 地域内フィーダー系統確保維持計画案について、皆さんからご承認をいただいたのですが、文字の表現ですとか、今後ご提出いただいたあとに運輸局、本省より修正を求められる場合がありますので、そこは事務局と調整をしたいと思います。大枠の部分で変わることはないと思いますので、皆さまにはご了承いただければなという風に思います。

(秋里会長)

- ・ 先ほど、マップに映る映らないという問題についても原因究明したいところですが、今の関係も含めて、岸先生からも全体を通して何かございますでしょうか。

(岸副会長)

- ・ グーグルマップともくいくの違いというのはおそらく、データの出どころの違いなのかと思います。おそらく何年か前に阿寒バスさん、くしろバスさんも観光振興機構のプロジェクトでデジタルデータ化したタイミングのものが北海道のオープンデータ推進協議会のサーバーにあって、それを使うところと使わないところがあるのだと思います。
- ・ グーグルは使うときの基準が厳しくて、そうじゃないところは釧路だけじゃない色々なバス会社のデータを活用してくれているアプリもあるところの差が出ているのだろうということもあって、グーグルは基準が厳しいと聞いたことがあります。
- ・ 当然、観光振興機構もデータを使ってくれと色々働きかけているはずで、そこは自分たちではどうすることもできないところもあるのかなと思います。早くよくなればいいのにと思いました。
- ・ 2つ目は、先ほど阿寒バスさんがコロナ禍で旅客70何%と聞いたときに、コロナ禍が始まって、何の根拠もなく多分肌感覚で、「まあコロナが収まっても多分2割は減るんじゃないか」という、色々な町のバス会社さんが言っていました。それって根拠があるのだろうかと思って思いながら、ただ皆さんがいろいろと仕事をしている中で大体2割というところが、もしかしたら、当たっちゃうのかなと思いながらですね。
- ・ 頑張っってこれをもう少し外出を促させれば、増えるかもしれないけれども100%に戻るかどうかというところは、今年か来年あたりで2割減が当たっていたというところが、推移を見ていきたいなと思っていたところです。
- ・ では、この協議会でやらなければいけないことは、2割減を前提に公共交通をどうするかというよりは、まだやっぱり観光を含めての利用促進とかをやっていくべきなのだろうなと思っています。

- ・ 100%に戻ることをギブアップしないってところですね。それ考えたときに、私、午前11時頃に釧路駅に特急で来て、昼ご飯を食べて約2時間の空きがあったのですが、時間を持て余してしまい、行くところがないわけです。
- ・ さっき事務局の皆さんとどこに行けばいいのだろうかと話をしていたときに、よくあるのは図書館。この図書館は中心市街地に人を呼び込むのには一定の効果を与えていると私は思うのですが、なんかそれに続く第2弾・第3弾がないなと思いながら、私、結局はタリーズで時間をつぶすことが出来て、お昼時なのに申し訳ないけれどもガラガラで。これが釧路の中心市街地の現状なのだなっていうことを改めて噛みしめました。
- ・ やっぱり公共交通の利用者を増やすということは、人々が外出をすることがないといけない。その中で交通手段選択の中でバスを使うかという話なので、やっぱり釧路市全体としては我々がこの場でできることというのは限られていると思いますが、中心市街地をどうするかという話がまずは必要かなって思います。
- ・ それができないのであれば、割り切ってしまうと、イオンなのか分からないですが、郊外に拠点を作ってしまうのも手です。釧路市もバス路線の再編でゾーンバスをコンセプトに乗換拠点を作りましたけれども、街によっては別に駅を中心とするというようなことを見切っちゃって、実際の住民の皆さんの交通行動の拠点を郊外にして、そこから路線を張り巡らしている街も実際にはあります。最終的にそっちに行かなきゃいけないのか、あるいは中心市街地を活性化させるのか、合わせて考えていかなきゃいけない話だと思います。
- ・ 市立病院も少し外れのところにありますから、この辺しかないですよ。なので、核になるようなものはどうなのだろうという話なのですが、振り返ってみると、ようやく吉田委員とのたらふく商店会との連携ができたとか、あるいは何年前にICカードがメインになるのかQRコードがメインになるのか、こちら辺が見極められなく、ICカードがメインになりつつあるとかいう状況もあって、我々がやっていることの成果は0ではなくて、時間はかかりながら少しずつ、成果を出している。
- ・ そのようなことを振り返ってみると、最初のこの協議会で議論したときに、大学生とコラボしてワークショップをやったのですよね。やはり、若者が中心市街地を歩いている街を作れないだろうか、それに合わせて公共交通をどうするべきだろうかということを教育大・公立大の学生さん、あと高専とか短期大学生にも集まってもらって、議論したのですが、まずそこがそれっきりになってしまっているなというのを今思い出しまして。
- ・ やることはまだまだあるなと思うのですが、バス・タクシーのサービスレベルだけじゃなくて、街づくりと連携するということをやっていく必要があるなと思いました。

(秋里会長)

- ・ 非常に大切なところをお話いただけたかなと思います。やはり、まだまだ中心部に対してあきらめるといことは当然ないわけで、これに対してどのような取り組みでこれを戻していくか。2～3割現実としては減っているが、利用を確保していくための取組が十分だろうかというところを、皆さまのお力を借りながらしっかり取組んでいくことが重要だと思います。

(菅野委員)

- ・ 先ほどの岸先生のお話はまさに、中心市街地・公共交通を考える上では、例えば、高齢者の方の通院だとかお買い物、子どもたちの通学というのがあるのですが、やはり街中の賑わいというかそこに目的を作るというところであります。
- ・ 今、皆さまもご存じのとおり、都心部のまちづくりとして釧路駅の高架事業をはじめとして、駅周辺の整備をこれから順次やっていこうという段階にいよいよ入ってきます。新聞等での報道のとおり、駅を高架して車を通さずバスのみという交通体系へ変わっていく。そこには目的が必要なので、中心市街地の活性化協議会という協議会においても北大通を中心に中心市街地の賑わいをどう作っていくかという市民の皆さまの研究会というものをそれぞれ立ち上げていながら、まずはそういった目的づくりというところに走っていこうというところでもありますので、当然この協議会での交通の議論と街中の賑わいづくりの議論というものを今後も並行していかなければと思っておりますので、まだ駅周辺の完了は長いスパンは掛かりますけれども、そういった中で試行錯誤しながら、まず利用促進を図っていく必要がありますので、委員の皆さまに相談することもあるかと思っております。どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

(堀内委員)

- ・ やはり地域のコミュニティがだんだん薄くなってきているというか、町内会活動の中でいくと、広いエリアでのコミュニティというものが段々求められてきているところもありますので、そういった広いコミュニティを作っていく上でも、足となる公共交通は必要になるのかなと感じておりますので、我々もいろいろ考えていかなくてはと感じているところです。

(秋里会長)

- ・ 先ほど岸先生からもありました、大学生との取組というものあって、これが点で終わってしまうのは非常にもったいないなというところはおっしゃる通りだと思います。
- ・ そういった意味では、新しく街中に目的を持ってもらうための作業と、それから若手の方も含めて、バスや公共交通に対して具体的に関わっていく仕組み作りなどを引き続き具体的な対応策作りを事務方も含めて検討していただきたいなという風に思っておりますし、いろいろ皆さま方からもぜひご意見いただきたいなと思っております。

4 閉会

(秋里会長)

- ・ 以上を持ちまして、「令和5年度第1回釧路市地域公共交通活性化協議会」を終了いたします。